



横浜市立田奈小学校

平成 30 年 8 月 27 日

学校だより 8.9 月

校長 二瓶 光代

TEL 045-981-0009



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

ハウセンカと子ども達

校長 二瓶 光代

夏休み目前、7月17日の朝のことでした。渡り廊下の横に置いてある植木鉢のところは何人もの子ども達がありました。理科の学習のために一人ずつハウセンカを育てている3年生です。猛暑が続いた3連休明けのこの朝、教室に行く前に自分のハウセンカの様子を見に来ているのです。ほとんどのハウセンカは、水不足でくたんと倒れ、茎は土に着きそうになっていました。子ども達から

「あー、こんなになっちゃって。もうだめかな・・・。」という落胆の声が聞こえてきました。子ども達は、急いで水やりを始めました。水をやり終えても子ども達の表情は、曇っています。ハウセンカのしなり具合は深刻なもので、水をあげればもう安心という状態ではなかったからです。子ども達の願いが少しでも実現するように私は、「水はたっぷりめにあげよう。今ぐったりしているけど、中休み頃元気になっているのもきっとあるよ。もう一度見に来ましょう。」

と、声をかけました。ハウセンカが水を吸い上げ、立ち上がった姿を目にしたら、子ども達は命の素晴らしさに感動することでしょう。ハウセンカが元に戻らなかった時は、植物は、長いこと水分を与えられないと後からたくさん水をやっても枯れてしまう、だから生き物を含め植物はまめに世話をすることが大切だということに気付くでしょう。子ども達の関心が高まっているので、ハウセンカがよみがえった場合でも、残念ながら枯れてしまった場合でも、どちらも大きな学びの場になると思いました。あとは、ハウセンカの生命力にかかっています。

中休み、「あれほどしなったハウセンカが立ち上がることはできるのだろうか？わずかでも元に戻っていてほしい。」などと考えながら渡り廊下に向かいました。すでに来ている子ども達がありました。ハウセンカは、見事にすくと立っていました。朝の状態が嘘のようでした。子ども達も驚いていました。私は、ハウセンカの生命力と子ども達の物事に対して高い関心を示す姿勢に感動しました。そして、これからも子ども達の興味関心を大切に受け止め、子ども達の気付きや感動につながる支援を充実していきたいと思いました。

倒れたハウセンカ



下から水がしみ出るくらい、たくさん水をやりました。



元気を取り戻した、ハウセンカ